

地域再生 協議会だより

事務局 百合が丘 2 - 29 - 6 (百合が丘老人憩いの家) 59 - 9356 (火、金午前)

(旧) ふるさとの家、1 月に見学会 4 月公開へ準備急ぐ

一色小学区地域再生協議会古民家活用部会(井上勝夫部会長)は、改修工事の完成を受け、「雛の吊るし飾り展」と連携した見学会を行う。H29 年 4 月からの一般公開へのつなぎと位置付けており、実施日は 1 月 14 日(土)、15 日(日)、21 日(土)、22 日(日)の 4 日間。並行して標識の更新、パンフレット作成、利用料や申込み方法など管理運営の体制整備を急ぎ、本格稼働に備える。



改修工事は順調に進んでいる



川勾神社、知足時に先駆けて雛の吊るし飾り展

見学会は、雛の吊るし飾り展を企画運営するグリーンにのみやプロジェクト(松本篤子代表)の協力を得て同時開催する。同展は川勾神社、知足寺でも開かれるが、H29 年については(旧)ふるさとの家が先陣を切ることになった。古民家活用部会では、見学会に備えて近隣の浄源寺の駐車場を借りたり、警備・誘導員、(旧)ふるさとの家の説明員を配置するなどの準備を進めている。

またこのほど開いた会合で、(旧)ふるさとの家の新名称を「古民家 ふるさとの家」とすることを決めた。今後、標識、パンフなどはこの名称に統一する。

再生協議会はふるさとの家改修費として 450 万円の予算を組んでおり、今秋から屋外仮設・室内トイレ改修、和室・縁側改修、樹木剪定など進めてきた。このほど入口進入路の補修、畳張替えなどを発注し、予定通りに進んでいる。

4 月の本番前には、1 月の見学会のほか、蕎麦打ち会、ハイキングツアーの立ち寄りなどについても調整が進んでいる。

ワークショップの概要固まる

1月は校区内、2月は全町対象で

再生協議会が1月に計画している「地域づくりワークショップ」の内容が固まった。来年度から取り上げる里山散策路整備、一色小の地域交流拠点化、魅力ある公園づくりの3テーマを取り上げ、60-70名の参加を想定している。また、2月に開催する2回目のワークショップは二宮町との共催とし、全町からの参加を見込む。

ワークショップの開催日時

<第1回>

1月29日(日) 13時30分~16時30分 百合が丘児童館ホール
対象 一色小学校区域住民。特に子育て世代、女性に呼びかける

<第2回> 二宮町との共催

2月22日(金) 14時~17時 町民センター会議室
対象 町内全域。地区長をはじめ地域づくり関わる個人、団体代表など

第1回目は、地域住民の意見をプロジェクトに反映させる狙い。冒頭に3プロジェクトリーダーが現段階での計画内容を説明。テーマごとに10人ほどで構成するテーブルを設け、テーブルを回りながら提案や意見交換を行う。第2部のワークショップでは、各テーマを掘り下げる話し合いを予定しており、最後は外部専門家、町担当、主催者も加わった意見交換にしたい考え。

再生協議会では、普段はこうした活動への参加が難しい子育て世代や女性に積極的に出てもらいたいとしている。回覧やポスターのほか、子ども会やPTAなどの組織を通じて出席を呼びかける。

第2回は二宮町との共催により、一色小学校区の活動報告をベースに、全町的視野から「地域づくり」を議論する。このため、シンポジウム形式になる可能性もあり、さらに詰める。参加者は一色小学校区内5地区に加え、他15地区から30名以上が参加する見通し。一般公募を合わせると70-80名になると思われる。

第3回本部会議、事業の進捗状況を確認

12月16日(金)、百合が丘老人憩の家で第3回本部会議を開催し、H28年度の事業進捗、予算執行見通しなどを確認した。会議には府川陽一二宮町教育長が出席し、「一色小をコミュニティスクールのモデルにする。協議会の中に地域学校協働本部的なものを設けることを検討してもらいたい」と語った。

各部会からの報告では、「間伐は順調に進んでいる。新年度には山野草の調査を計画している」(友情の山部会)。「来年度のイベントの準備に着手する」(文化イベント部会)。「地域包括ケアに向けた取り組みは軌道に乗った。来年度の展開は模索中」(地域福祉部会)。「ワークショップなどを行い新年度から3新部会の立上げを準備中」(地域課題検討部会)。

「幾つかの企画を実施したが、準備期間の問題もあって課題を残した。これらの経験を踏まえてこの地域の良さを売り込む取り組みを考えたい」(県公社部会)など。